

「長浜市地域福祉計画検討委員会 第4回会議」会議概要録

日 時 令和3年10月22日（金） 13:30～15:25

場 所 長浜市役所本庁舎5階 5A会議室

出席者

（会議構成員）筒井 のり子、平井 和子、堀 直美、野村 一成、川村 美津子
美濃部 裕道、丁野 利彦、川瀬 順子、柏崎 元皓、西橋 義仁、
木口 佐知代、鈴木 良嗣、野寺 英里香

（順不同、敬称略） 以上13人

（長浜市社会福祉協議会（地域福祉課））

課長 鈴木 茂喜、担当リーダー 山岡 伸次

（長浜市（事務局：長浜市社会福祉課））

健康福祉部長 福永 武浩、健康福祉部次長 横田 留里
課長 中田 重樹、参事 堀江 一敏
副参事 沢本 勘与、副参事 下村 哲也
主幹 山田 智洋、主査 前田 紗希

欠席者

（会議構成員）曾根 昭信、高山 和代、北川 美由紀

（順不同、敬称略） 以上3名

傍聴者

なし

【開会】

- ・健康福祉部長挨拶
- ・配布資料及び協議事項の確認/第11回長浜市社会福祉大会案内
- ・筒井座長挨拶

【協議】

(事務局)

◇団体ヒアリング調査クロス集計結果報告

◇第3期長浜市地域福祉計画案について意見交換

(事務局)

・事前送付した地域福祉計画案についてご意見を頂きたい。また、本日の会議終了後でも、11月8日までご意見等を受け付けさせて頂きたいので、何かあれば事務局までご連絡をお願いしたい。

・今後のスケジュールについて、第5回会議を11月26日(金)に開催させて頂きたい。第5回会議は、本日の会議及び11月8日までのご意見等を反映し、パブリックコメントに提出する状態の計画案を提示したい。

・第3期計画の主な変更点は、①自助・互助・共助・公助の4本柱で地域福祉を推進すること、②重層的支援体制整備事業計画と、再犯防止推進計画を本計画に包含すること、③市民アンケート調査・団体ヒアリング調査等による長浜市の現状と課題に応じた計画とすること、④社会環境の変化等地域福祉推進の課題を明確にすること、⑤長浜市社会福祉協議会との連携を明確にすること、⑥地域福祉推進の理念を一部変更し、「多様性を尊重し」を追加することの6点である。

・計画全体の構成変更について説明。①第2章/第5節として、第2期地域福祉計画の評価を追加すること、②第3章/第2節の施策の展開の構成を変更:第2期計画では現状と課題の後に今後の取組を記載し、最後に現在実施している主な事業を記載していたが、第3期では、現在実施している主な事業を現状と課題の後に記載し、最後に新たな取組事項やコラムを記載すること、③施策の体系の追加:「だれ一人取り残さない支援のしくみをつくります」を追加し、施策の方向として(1)重層的な支援体制づくり(2)再犯防止を支援するしくみづくりを追加すること、とした。また、当該事業には、事業目標と評価指数を追加し目標数値を設定している。

(計画案の説明)

- ・第1章の説明。

(委員)

・「自助」「共助」「互助」「公助」としているが、自助・共助・互助に重きを置きすぎているか。地域福祉計画なので理解はするが、孤独感、孤立感があるとき、どのように公助があるのか、つながりも当然大事だが、自助に寄りすぎているか心配している。課題は精神論では解決できないので、公助の枠組みをいかに確立していくのか、計画に盛り込んでほしい。

(座長)

- ・具体的に盛り込むべきところはどこか。

(委員)

- ・理念的な目標が多いので、数値目標をたててはどうか。例えば●年後に●%とか。

(座長)

・第3章で触れられると思うが、地域福祉計画が抽象的になりやすいのはやむをえないところもある。地域福祉計画は行政計画であるので、「公助」だけではなくて、自助・互助・共助もうまくいくように行政としてどうしていくのか検討するもの。すべてがうまくいくように土台としての公助は必要だと思うが。

(事務局)

・委員のご指摘は大切なことだが、具体的な目標設定は難しく、理念的なものになっている。地域福祉計画は健康福祉部がそれぞれ立てている計画の上位計画の位置づけである。したがって具体的な数値目標や公助はそれぞれの計画の中で書き込ませて頂いている。しょうがい福祉プランはあまり具体的ではなく概念的だが、それぞれの計画の中で落とし込んでいるもの。

(座長)

・公助は自助・互助・共助を支援していくとされているので、委員の意見を踏まえ、良い表現を検討してほしい。

(委員)

・「長浜らしさをいかし」の長浜らしさとはどんなことか。

(事務局)

・後述の記載部分で説明する。

(委員)

・互助を新たに加えているが、互助と共助の違いは何か。あえて互助を加えた理由はなにか。

(事務局)

・市民アンケート調査の分析をした結果、地域住民同士のつながりが重要であると意見が多くあった。一般的には社会保障制度の部分をもって互助をわけるという考えも多いが、長浜市の地域福祉計画では、市民同士、地域住民同士のつながりをより大切にしていこうという意志を表すもの。

(座長)

・もともとは共助の中に互助の考えかたがあったが、あるタイミングから国が共助と互助を分け4つの柱が示されるようになった。先ほど説明があった互助の内容を説明するとよいと思う。社会福祉研究者の中でも様々な意見があるものだが、今では4つにわけるとなっている。

・SDGsのマークについて、内容が重要なので、見えやすくすると良い。

(事務局)

・第2章の説明。

(委員)

・次代を担う子どもたちが地域との関わりを維持してこつための「しくみづくり」だけではなく、一歩進んで「仕掛けていく」必要があると思う。

・地域活動について、受け身の人が多いというのは否定的な見方に感じる。むしろ8割の人が参加し、5%の人が企画に関わるというのはむしろプラスの表現にできると思う。

(事務局)

・表現について検討する。

(事務局)

・第3章/基本目標Ⅰの説明※長浜の特徴記載を説明

(委員)

・インクルーシブ教育の表現について、あらゆる子どもたちが「包みこまれ」とはどのような意味か。

(事務局)

・伝わりにくいため、わかりやすい表現に改めるよう検討する。

(委員)

・誤解をされる可能性がある為指摘した。例えば養護学校に行く必要なしにすべての子供たちを地域の学校に登校させると捉えられる可能性がある。

(委員)

・「多様性を尊重し」のところについて、さらっと読めるのだが、多様性は人によって捉え方が違う。概念的にもなり得ると思う。他の人がどんなことを考えるのか気になる。多様性とは何だろうか。

(座長)

・2期計画からあえて「多様性を尊重し」と加えたのでもう少し説明が必要。多様性を尊重したらバラバラでもいいのでは、と思われてしまうかもしれない。そうではなく、つながるといふところの説明がいる。地域に暮らしている人の情報を少し加えるなど検討してはどうか。

(事務局)

・表現の仕方について検討する。

(委員)

・今回、あえて新しく多様性を加えたきっかけを教えてください。

(事務局)

・様々な人の意見から、地域活動一つとってもつながりに対する価値観が異なることがわかり、これは市民アンケート調査でも明らかとなった。従来のつながりの形だけではなく、様々な価値観・ライフスタイルの違いがあっても互いに理解し、思いやりを持つことが地域の絆づくりにつながるという思いから追加した。

(委員)

・多様性について、章の頭の大事な部分に記載され、その後何度も出てくるので、どこかでまとめた方がすっきりすると思う。本当に多様化すれば、あえていない表現。個性があって当たり前になれば言わなくてよいもの。また、地域活動については断れない・断っていけないという雰囲気があるのでは、とも思った。

(座長)

・絆という言葉にはもともと馬や羊など、家畜をつないでおくという意味もある。要は断ち切ろうと思っても断ち切れないというもの。絆は大事だが、自分と同じ考え方でないため、ではなく、前提としているんな人がいる中で連携するというもの。良い表現を検討してほしい。

(委員)

・抽象的な言葉としてわかるが正解は何なのか。計画については、事務局で様々な文言を考えてわかりやすくなっている。昭和の時代、いろんな人がいるということは教えてもらったが、その人たちの人権を守り、いかに生活を保障すべきかについては遠い世界の話のようになっていた。これから施策を考えると

き、その方向付けや、長浜らしさを考えるとともに、単純にこのまちに住んでよかったと思える人が増えることが大事。社会福祉協議会との連携や、市の社会福祉課と社会福祉協議会との違い、また、どちらに何を頼れるのかわからない、という話もあった。両輪となって生活を支えることができるのか答えていきたい。自分たちのこととして考えるべきで、わかったつもりではなく、わかってもらえる言葉になるとよい。

(事務局)

- ・基本目標2の説明。

※質疑等特になし。

(事務局)

- ・基本目標3の説明。

(委員)

- ・相談にいつでも担当が違う等の理由で対応してもらえないケースがあるのではないかと。

(事務局)

・健康福祉部では、たとえ自分の相談でなくても各課連携して対応するようにしている。これは現状の取組としてやっていく。つながらなくてもほったらかさず、取り残さないようにしたいと考えている。

・連携担当職員はすでに配置している。重層的な支援体制については、制度的な説明が多いので、もう少しわかりやすい表現にしたいと思う。

(座長)

- ・再犯防止推進計画について、計画としての記載を入れた方がよい。

(事務局)

- ・タイトルに計画名を記載する。
- ・第4章の説明。

(委員)

- ・市民公募の方にどのような視点で会議に参加していただいているのかを加えた方がよい。

(委員)

・重層的について、どのような字を書くのかもわからなかった。市民の方にどうやってわかりやすく伝えたらよいのか。昔はたらいまわしにされることもあったが、今はとても良いシステムができて自慢できるもの。これが市民に伝わりわかりやすくなればよいと思う。

(事務局)

・今後のスケジュールについて、冒頭説明のとおり、11月26日(金)に第5回会議を開催したい。11月8日までに事務局までご意見があれば頂きたい。本日頂いた意見等をもとに引き続き計画を策定していく。

・健康福祉部次長挨拶。計画の赤字部分は前回からの変更点でほとんど新たに改めている。これから新しい時代がスタートしていく大事な時。またご意見等あればご指導いただきたい。

以上